

いじめ対応充実の手引き⑩



長野県教育委員会事務局教学指導課心の支援室

いじめが起きた場合の対応



いじめ問題が起きた場合には、学級担任や担当教師が一人で抱え込まず、「いじめられている児童生徒を守り通す」という共通認識の下、問題の解決に向けて**チームで素早く丁寧**に対応することが必要です。「いじめに係る学校訪問（H24. 9月）」からは次のような課題が見えてきました。

- いじめの多くが学校内で発生しており、いじめた児童生徒や周囲の児童生徒には、遊び、ふざけといった感覚がある。
- 幼少期からの固定化された人間関係が潜んでいるなど、いじめの構造が複雑になっている。
- 一度解決したと思われたいじめが水面下で継続していたり、いじめた児童生徒といじめられた児童生徒の立場が逆転して再燃したりするなど、問題が長期化していることがある。
- 学校の支援・指導方針及び方法について、児童生徒の保護者の理解や協力を得られない場合がある。

ここから、次のような点に配慮して問題に対応する必要があります。

《速やかで丁寧な初期対応》

いじめ問題の発生時や情報をキャッチした直後から、児童生徒に寄り添った丁寧な対応を行う。初期対応に全精力を傾けることで、以後の問題解決に向けた取組が進む。

《全体像の把握》

事実関係はもとより、学級や集団内の児童生徒がどのようなかかわりをしているのか全体的な構造を的確に把握し、それに応じた対応をする。

《指導方針の検討と確認》

把握した事実や全体像をもとに、校長先生のリーダーシップのもと指導方針を決定し、具体的な対応の仕方まで共通理解したうえで動く。

《継続した見守り》

いじめが発生して対応した後、いじめられた児童生徒のみならず、いじめた児童生徒、周囲の児童生徒または学級集団全体に対して支援・指導を継続する。

《保護者とともに》

共に児童生徒を育てていく気持ちを持ち、ふだんから保護者との連携を大切にしておくとともに、保護者の納得が得られるような協力態勢づくりをする。



ワンポイント

いじめ等の問題を発見したり、情報をキャッチしたりした場合、教職員個人の初期対応にはどんな心構えが必要なのでしょうか。

① 瞬時に対応する判断力

教職員が問題を発見した場合、状況によってはその場で瞬時に判断し、毅然とした対応をしなければなりません。その機を逃すことは、いじめを容認したことになりかねません。

そのためにも、ふだんから感性を磨いておく必要があります。たとえば、児童生徒の様子や周囲の状況から、授業や休み時間等の場面で起こるかもしれない危機を予測し、頭の片隅に入れておくことも大切です。

② だれに「報告・連絡・相談」するか

自分で解決できることか、そうでないのか、だれに相談することがふさわしいのか、即座に判断をせまられることもあります。問題の内容や状況、あるいは緊急度に応じて「報告・連絡・相談」の相手はかわりますが、対応の基本は一人ではなく、複数で対応することです。

③ 児童生徒を大切にしたい傾聴の姿勢

児童生徒の安心・安全の確保が最優先です。その上で児童生徒がいじめを訴える場合等、いじめている相手への恐怖感や不安感などを乗り越えて勇気をふりしぼって相談しているということを受け止め、共感的に気持ちに寄り添いながら、丁寧に事実を聴く姿勢が必要です。

組織的な支援・指導体制の確立

「いじめに係る学校訪問（H24. 9月）」では、いじめ対応マニュアルは、小学校90.6%、中学校94.1%の学校で用意されており、そのほとんどの学校でいじめが起こった場合の対応の手順が示されていることがわかりました。その手順にそって、「どのような事案が発生し、いつ、だれが、何を、どのようにするのか、（または、しないのか）」など職員の動きを具体的に想定し、いざというときの対応に備えましょう。

いじめが起こった場合、学級担任や担当教師は、責任を感じ、「指導不足だった」と悩んだり、「自分で解決しよう」と焦ったりしてしまいがちです。そんなときに頼りになるのが「組織的な支援・指導体制」、言い換えれば周りの職員のフォローです。第③号でも述べましたが、学校で起こったことを自分のこととして考えられる職員集団こそ必要です。次のような約束を決めておくといでしょう。

全教職員による「組織的な対応」の共通理解

- 学年連絡会を短時間でも頻繁に行い、学級内の状態をいつも見えるようにしておく。少なくとも学年職員や教科担任は学級の児童生徒の今の状況を知っている。
- いじめまたは、いじめに進行する可能性のある事案を発見した場合は、一人で抱え込まず、他の職員や学年主任、生徒指導係等に相談するとともに、直ちに校長先生、教頭先生に報告が届くようにする。
- 児童生徒への聞き取りや保護者への説明などは必ず2人以上で行う。
- 問題解決までの経過を時系列で記録し、共有できるようにしておく。